

ぷらんど

JA全農えひめ情報

10

2014・October

■特集

平成26年産温州みかん出荷販売対策と消費宣伝活動





▲大勢の方で賑わいました。



▲「おいしい。」えひめ野菜のキャラクター「乱太郎」のうちわやレシピの配付も喜ばれました。

「野菜の日」イベント

(松前町)



J A全農えひめとJ A愛媛野菜生産者組織協議会は、毎年8月31日の「野菜の日」にあわせ、趣向を凝らしながら、えひめ野菜のPRと消費拡大を呼びかけるイベントを開催しています。今年は、8月30日、松前町のエミフルMASAKI店頭で、「愛媛の夏野菜でパワーチャージ」 in エミフルMASAKIを開催し、「野菜スムージーで暑い夏を乗り切って」とPRしました。

今回は、(株)カゴメと協力してトマト32kg、キュウリ15kgとカゴメ(株)の野菜ジュースをミキサーにかけて作った「野菜スムージー」を計1,000杯配布し、来場者に喜ばれました。「トマトスムージー」は、冷凍しておいたトマトと野菜ジュースで素材の味を活かしたスムージーで、「トマトは苦手」という子どもが「美味しい」といって飲む姿を見て、「これなら大丈夫そう」と保護者の方も目を細めていました。「キュウリスムージー」は、愛媛産甘夏の「甘夏&レモン」ミックスジュースを使用し、「すっきり爽やかで飲みやすい味」。子どもたちも、「苦いのかと思ったけど甘くて美味しい」と飲んでいました。

今後も食べ方提案等を通して消費拡大を呼びかけます。

あぐり〜ど

October 2014

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



秋日和に、家族みんなで脱穀作業。足踏み式脱穀機に興味津々のお兄ちゃん。休憩中におじいちゃんから使い方を教わります。おにぎりをほおばりつつ、ほほえましく見守っているお父さんとお母さん。農作業も親から子へ、孫へとつながっていきます。今年もふっくら、つやつや、おいしい新米をどうぞ、召し上がれ！

●表紙：脱穀作業
はら ふみ(イラストレーター)

※『あぐり〜ど』は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心をつなげる (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.166

「野菜の日」イベント

(松前町)

2

〈特集〉

平成26年産温州みかん出荷販売対策と消費宣伝活動
高品質果実の計画出荷、需給調整対策、
効果的な消費宣伝活動等を展開します。

6

THE・ねっとわーく

9

統計BOX

10

ふるさと ESSAY VOL.234

世の中、まんざら 捨てたもんじゃない 2

村松 つねさん

12

TOPIC NEWS

16

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉豚肉「ふれ愛・媛ポーク」

JA全農えひめ

ホームページ

<http://www.eh.zennoh.or.jp>

■JA全農えひめ「えひめの食」企画

<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>

※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆(株)えひめ飲料

<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス(株)

<http://www.iyokkora.jp/>

◆JAえひめ物流(株)

<http://www.jat-ehime.co.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ(株)

<http://fresh-ranran.jp/>

◆(株)ひめライス

<http://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー(株)

<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

高品質果実の計画出荷、需給調整対策、効果的な消費宣伝活動を展開します。

平成26年産温州みかんの生産予想量（日園連主産県調査）は、全国で約80万5千トン（前年比98%、24年比103%）、愛媛県は13万5千トン（前年比98%、24年比104%）が見込まれています。また、県内J Aの露地みかんの出荷計画量（9月20日時点）は、6万1,507トン（前年比96%、24年比105%）となっています。

今回は、26年産温州みかんの出荷販売対策と消費宣伝対策を紹介します。

26年産温州みかんをめぐる情勢

平成26年産温州みかんの生産予想量は、日園連の9月1日時点の主産県調査によると80万5千トン程度（前年比98%、24年比103%）、愛媛県は13万5千トン（前年比98%、24年比104%）で、適正生産量（全国89万トン、愛媛14万7,980トン）を下回る状況ですが、依然として園地・樹によるバラツキもあり、今後

さらに隔年結果の是正に向けた適正着果対策を徹底し、高品質果実生産対策に取り組むことが重要です。

26年産露地みかんは、裏年廻りではありますが、着果量は全体的に多く、生理落果においても二次落果が少なかったため、近年の裏年に比べて生産量は若干多い模様です。また、早生みかんの販売価格を左右する極早生の生産量は、前年をやや下回る予想となっており、高品質果実の生産・出荷に力を注ぐことが重要です。早生以降については、生産量は前

年をわずかに下回る程度ですが、競合品目であるりんご・かきの作柄が平年よりやや多い予想となっていることから、消費動向を注視しながら、市場別の販売動向を把握した出荷に努めることが重要です。

また、11月中下旬の恒常的な売り悩みとともに、特に近年12月中旬以降の供給過剰による荷動きの停滞・価格低迷を回避するためにも、26年産露地みかんの出荷販売にあたっては、高品質果実の出荷を基本に出荷時の品質基準の遵守や計画出荷に努



表1 品質基準

出荷時期	糖度	酸度
9月	9.0度以上	1.0%以下
10月	10.0度以上	1.0%以下
11月以降	11.0度以上	0.9%以下

※市場到着時目標とし、全国連の品質基準に準ずる。

めるとともに、市場価格の維持を目的とした果実需給調整対策事業及び一般消費者を対象とした消費宣伝事業を有効活用し、次年度につながる販売対策を実施します。

販売具体策

【極早生みかん】

極早生みかんの販売は10月末終了を徹底します。ただし、やむを得ず11月に出荷するものについては、確実に糖度11度以上の品質が確保できるものに限定し早期に出荷を切り上げます。低品位果実の市場出荷の自粛、県域の価格維持対策として下等

級品の市場隔離を図るため加工誘導対策事業を実施・有効活用します。（加工誘導対策事業は、11月10日までの計画でしたが、りんご・柿など競合果実の潤沢な入荷等による厳しい販売状況を受け、1,300トンに拡大しました）。

また、全国産地と協調連携しカナダ向けに輸出し国内の価格維持を図ります。

【早生みかん】

早生みかんの販売開始にあたっては、市場残荷量等の販売状況や品質状況を勘案したなかで開始します。

11月中下旬は恒常的な売り悩みを回避するため市場別の販売状況を勘案し販売先の需要に応じた出荷に努めるとともに、品種の切り替えをスムーズに図ります。また、日量出荷量の平準化を図り、祝祭日および休市明けと11月6日、11月27日、12月4日は平常時の20%増以内を抑えます。

県域の価格維持対策として、下等級品の市場隔離を図るため加工誘導対策事業を実施・有効活用します（1月31日までに2,500トン対象）。

【普通温州みかん】

近年の12月中旬以降の一時的な需要の落ち込みに対応するため、自主調整を含めた機動力のある出荷を実施します。

販売店では年末年始無休営業が常態化し、消費の標準化が進んでいることから需要に応じた出荷を実施するとともに、年内に無理した出荷を行わずに年明け販売も視野に入れた出荷計画を策定します。また、年明け販売分は、品質低下のないように貯蔵管理の徹底を図ります。

1月末まで果実需給調整対策事業を継続します。

【各品種共通対策】

精度の高い出荷計画の策定と産地状況の迅速な情報発信を行います。また、品質・階級基準を厳守するとともに、低品位果実は加工仕向け等の市場隔離を行います。

品種・系統の品質特性を踏まえた適期出荷を徹底します。早生の販売開始は、基本的に11月からとし、極早生から早生への切り替えを明確にします。また、11月～12月10日における水曜日の販売分は出荷停止とします。※対象日は、11月5日・12日（休市）・19日（休市）・26日、12月3日・10日（休市）の合計6回

全果協10地域市場出荷計画の旬別前年比を指標として出荷計画を樹立するとともに、選果場ごとの出荷状況を的確に把握し、市場出荷残量を踏まえた計画的な出荷を行います。

また、生産指導部署との連携を密にし、選果・選別・出荷予措の徹底と10地域市場出荷計画を基準として、市場ごとに残荷量・未仕切等の販売状況を加味した出荷量を調整します。

需給調整に基づいた適正出荷量と特別出荷調整の対象期間（11月中下旬）におけるJ A別出荷量を遵守するとともに、長期取引契約数量を必

達します。

緊急需給調整特別対策事業が発動された場合は、事業実施方針に基づき価格下落の主因となる恐れのある果実を加工原料に仕向けます。

【階級基準】

出荷階級は2L～S級とします。

【緊急時の対策】

「緊急需給調整特別対策事業」が発動された場合は全果協および県果協の実施方針に基づき実施します。市場価格の急落が懸念され、かつ市場在庫が増加傾向にある場合は、果実販売部会・販売情勢検討会等で協議し、緊急対策を実施します。

効果的な消費宣伝活動で
愛媛みかんPRと販売拡大を

26年度は、温州みかん消費宣伝事業の柱となる店頭試食宣伝販売において、販売力の高い店舗の設定や販売時期に強弱をつけるなど販促のあり方を十分精査した上で、効果的な販促活動を実施します。店頭販促を行うSPレディの研修会等を実施することで愛媛県産かんきつに対する知識を深め、消費者に五感を通じて

愛媛みかんの魅力を訴え、消費拡大を図ります。

また、今年で12年目を迎える食育活動は、幼稚園児および保護者を対象とした「はじめてのみかんむき企画」等の活動を実施するとともに、新しい取り組みとして、高齢者向け福祉施設で専門家が愛媛みかんの健康機能成分について講義し、愛媛みかんの魅力を伝え新たな販路拡大に取り組みます。

愛媛みかん大使による消費宣伝・みかんキャンペーンについては、効果的な活動を計画・実施し、愛媛みかんのPR・知名度向上を図ります。

◆消費宣伝事業内容

1. 全国果実生産出荷安定協議会

「食生活指針」や「食事バランスガイド」に基づいた「日本型食生活」を推進し、果実摂取の重要性を訴求するため「毎日くだもの200グラム運動」の普及啓発活動の実践、安全・安心な国産果実全体のイメージアップや話題性の醸成・提供、果物の持つ栄養・効能・機能性の周知および全国の果樹産地と一体となった取り組みを行い、国産果実全体の需要拡大を図ります。また、全国・県・農協の各段階の役割分担を明確化



し、全国の果樹産地が協調した事業展開を図り、より効率的・効果的な取り組み内容とします。

2. えひめ愛フード推進機構

消費者に「オレンジデー」、「オレンジロード」の認知度向上を図るとともに、愛媛県産かんきつ全体のPR及び消費拡大を図るため、効果的なイベントを計画・実施します。

3. 店頭試食宣伝

愛媛みかんの売り場確保・販売数量・売り上げアップを図るため、店舗の状況にあった販促を実施し、より多くの消費者に愛媛みかんをPRします。また、シーズンを通じて愛媛県産青果物の売り場を確保して

れる「愛媛協力店」を設定し、愛媛果物の情報発信と消費拡大を図ります。さらに、高齢者福祉施設で、愛媛みかんの健康機能成分の紹介やPR活動を行い販路の拡大を図ります。

4. 愛媛みかん大使による消費宣伝

「愛媛みかんの顔」として愛媛みかん大使を東京・大阪等の大都市に派遣し、各種イベントへの参加、マスメディア等を巡回訪問し、愛媛みかんの季節到来とキャンペーンの取り組みを周知するとともに、イベントの記事掲載等を通じて消費宣伝の相乗効果を図ります。

5. 食育活動事業

今年で12年目を迎え、幼稚園・保護者等からも好評の「はじめてのみかんむき」企画を実施し、幼稚園児にみかんを自分で剥く行為の啓蒙活動を行います。保護者に配布するリーフレットには、愛媛柑橘の歴史や品種、おいしいみかんができるまでの流れなどを掲載しており、大人から子どもまで親しめる内容となっています。そして日常生活の中でかんきつ類を食べることの習慣付けを行い、旬のおいしい「愛媛みかん」を印象付けて広範な消費拡大を図るとともに、愛媛柑橘全体をPRします。

6. SPレディ組織強化事業

愛媛産柑橘のより効果的な店頭試食宣伝販売を行うために、SPレディの組織強化に取り組みます。温州みかん研修会（100人研修会）では、26年産柑橘類の生育状況・作柄等の説明会を実施し、産地状況等も把握してもらい、産地と一体感を持つて販売できるよう協力体制を強化します。また、今年度は中晩柑、晩柑類の研修会を同時開催し、より効率的かつ効果的な研修を実施します。

THE

ねとわーく

「JAグループ農畜産物消費拡大運動展開中！」

生活 資材課

JAグループ愛媛農畜産物消費拡大推進本部は、来年1月末まで、「JAグループ愛媛農畜産物消費拡大運動」に取り組んでいます。

この運動は、愛媛県産農畜産物加工品消費拡大運動方針に基づき、良質で安全な県内産「乳製品」の愛用を進めるとともに、地域農業の振興を図り、地産地消の実践を目指すもので、JAグループをあげて毎年取

り組んでいます。今年は、らくれんの乳製品1万5,541セットを目標に運動を進めています。

運動では、菌の健康をまもる乳酸菌「L8020菌」を使用したヨーグルトなど7種類・12個の乳製品をセットにした「バラエティーセット」(2,050円)、3種・15個のレアチーズをセットにした「チーズケーキセット」(2,100円)、バターとレアチーズ3種をセットにした「乳製品セット」(2,100円)、「牛乳屋さんのほわいとロールケーキ」(280g1個・1,700円・宅配料金別)の4アイテムです。

新登場の「ほわいとロールケーキ」は、「らくれん牛乳」と「ピュアホワイト卵」(黄身が白い卵)を使って真っ白なホワイトロール生地仕上げています。手作りのため数量・期間限定で、冷凍宅配便でお届けします。

なお、上期に実施した『えひめみかん・いよかんジュース愛用運動』では、目標の33万ケースを上回る36万9,677ケース(8月末)の実績をあげることができました。格別のご協力をいただきありがとうございました。

となって取り組みます。ご支援・ご協力をお願いいたします。

**JA全農えひめでは
県内産を中心とした
「食肉加工品」も推進中！**

JA全農えひめ生活資材課では、来年2月末まで、良質で安全な愛媛県内産牛・豚肉の地産地消を通じて地域農業の振興を図ろうと、「食肉加工品」の取扱い・消費拡大を推進中です。

取扱商品(セット)は、伊予牛「絹の味」「ふれ愛・媛ポーク」の精肉セットやレトルトのカレーセット、愛媛県産豚肉を使用した「豚バラ柔らか角煮」「豚ロース豚丼」、国産豚肉を使用したウインナーなど合計12アイテムを用意し、1万3,251セットを目標に利用を呼びかけています。この機会にぜひご賞味・ご注文ください。

愛用運動商品と食肉加工品のご注文・お問い合わせは、最寄りのJAまたはJA全農えひめ生活資材課(TEL089-905-2715)までお願いいたします。

自然の美味しさ お届けします。



■R-04 バラエティーセット
2,050円

- 生乳ヨーグルト70g×3(2個)
- 8020ヨーグルト110g(3個)
- 8020のちヨーグルト110ml(3個)
- 愛あるカスタードプリン90g×3(1個)
- リッチ&クリーミーヨーグルト500g(1個)
- 道後赤たまごプリン100g(1個)
- 道後赤たまご種上プリン100g(1個)

■R-05 チーズケーキセット
2,100円

- レアチーズケーキプレーン55g(5個)
- レアチーズケーキストロベリー55g(5個)
- レアチーズケーキみかん55g(5個)

■R-03 乳製品セット
2,100円

- バター(食塩不使用)225g(2個)
- レアチーズケーキプレーン55g(2個)
- レアチーズケーキストロベリー55g(2個)
- レアチーズケーキみかん55g(2個)

■R-10 牛乳屋さんのほわいとロールケーキ
1,700円+宅配料金

(県内630円・県外850円)

- 牛乳屋さんのほわいとロールケーキ280g(1個)

2014 農畜産物消費拡大運動 JAグループ愛媛

「県内フジ全43店舗でキャンペーンを実施し、地産地消の拡大めざす！」

畜産部

J A 全農えひめ畜産部は(株)フジと共同で、愛媛産ブランド肉の「ふれ愛・媛ポーク」
と伊予牛「絹の味」の販売拡大と地産地消の拡大をめざし、10月13日から11月30日まで、販促キャンペーンを実施中です。

J A 全農えひめが、量販店とタイアップして消費者キャンペーンを実施するのは今回が初めて。地元アイドルグループ「ひめキュンフルーツ缶」をキャンペーンキャラクターに起用して幅広い年齢層にアピールし、愛媛県産系統ブランド肉の販売拡大と地産地消の拡大をめざします。

◆キャンペーン名称

私たちもおすすめます！

「ふれ愛・媛ポーク」フジオリジナル肱川清流豚・伊予牛「絹の味」を買ってライブに行こう！

◆応募方法・賞品

キャンペーンは、愛媛県内フジ全43店で実施。「ふれ愛・媛ポーク」フジオリジナル肱川清流豚と伊予牛

「絹の味」の購入者を対象にしたクローズドキャンペーン。該当商品のシール各1枚(計2枚)を貼って応募すると抽選で、ひめキュンフルーツ缶のライブ招待券(50人)、フジ商品券3,000円分(50人)、「ふれ愛・媛ポーク」肱川清流豚・伊予牛「絹の味」しゃぶしゃぶセット(100人)が合計200人に当たります。

キャンペーンPRイベントとして、10月25日(土)エミフルMAS AKI グリーンコートで「ひめキュンフルーツ缶ライブ」、食品売場特設コーナーで「ひめキュンフルーツ缶」と「ふれ愛・媛ポーク」若手生産者ユニット「ひめとんボーイズ」などがお客様に直接購入を呼びかけ、キャンペーンを盛り上げます。
キャンペーンの詳細・応募方法などは、フジ店頭ポスターかJ A 全農えひめホームページまで。



株式会社フジ JA全農えひめ 共同企画

私たちもおすすめます！

『ふれ愛・媛ポーク』フジオリジナル肱川清流豚・伊予牛「絹の味」を買って、ライブへ行こう！



※このキャンペーンは、愛媛県内フジ店舗のみの実施となります。

A賞

「ひめキュンフルーツ缶」ライブご招待券 50名様

B賞

株式会社フジ商品券(3,000円分) 50名様

C賞

「ふれ愛・媛ポーク」肱川清流豚・伊予牛「絹の味」しゃぶしゃぶセット 100名様

応募期間 2014年10月13日～11月30日(当日消印有効)

応募方法

キャンペーン期間中、フジにて販売されている、「ふれ愛・媛ポーク」肱川清流豚シール1枚と伊予牛「絹の味」シール1枚の計2枚を、郵便はがき又は専用応募はがきに貼付していただき、郵便番号・住所・氏名・年齢・性別・ご購入店舗名・ご希望賞品を明記のうえ、応募先に郵送してください。お一人様シール2枚一口として何口でもご応募いただけます。

応募先

〒799-3111 愛媛県伊予市下西川字北野511-1

J A 全農えひめ 畜産販売課

私たちもおすすめます！「ふれ愛・媛ポーク」肱川清流豚・伊予牛「絹の味」を買ってライブへ行こう！キャンペーン係

当選発表

キャンペーン終了後、厳正な抽選のうえ、賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

「ふれ愛・媛ポーク」肱川清流豚シール1枚と伊予牛「絹の味」シールどちらか1枚の計2枚でご応募いただけます。



(1枚)



(伊予牛「絹の味」シールはどちらか1枚)

※フリントの裏面に日付がわかるよう印刷しますので、あらかじめご了承ください。
※応募はがきにご記入いただく必要のある個人情報(住所、氏名、年齢、性別)は必ず記載してください。応募はがきには「個人情報を特定できない統計データとして利用します。」以外、個人を特定した情報として利用することはありません。

11月21日から3日間 豊富な品揃えで『JA石碑大展示ご予約会』開催!

生活 資材課

県内JAとJA全農
えひめ生活資材課は、
JA石碑事業の普及拡
大と墓石の円滑な建立

を目的に、10月から12月末まで、『秋
期石碑予約推進キャンペーン』を実
施中です。

特に11月21日から23日までの3日
間は、松山市の51番札所石手寺前の
(株)イフイ特設展示場で、石碑・仏壇

を大量に品揃えし、『JA石碑大
展示予約会』を開催します。

県内最大級の規模となる展示会
は、良質で厳選された愛媛の銘石
「大島石」など各種石碑を豊富に取
り揃え、墓石の完成時の形がイメ
ジできるような納骨舞台を含めたセ
ット墓、小物まで大量に展示販売しま
す。セール期間中は、JA組合員の
特別価格で提供するほか、数量限定

愛媛県産
こだわりの
大島石

石のふろさと大島から心を込めて産地直送

JA組合員の皆さまへ

JA石碑 大展示ご予約会

セール期間中、JA組合員様には特別価格でご提供します。ご来場の方には相品プレゼント!!

3日間限りの特別招待会

11/21・23日
【10:00~17:00】

ご成約プレゼント
墓石・仏壇に成約の方に
電気ケトルを
プレゼント!!

ご成約ダブルプレゼント
100万円以上ご成約の方
お客様には空くし無しの
プレゼント相品!!
●シャープ お茶プレス
●JAの墓物

「墓石・仏壇が同時に欲しいという方は!」

墓石+仏壇
セットでお得!!
価格表
当日発表

同時開催!!
新作
お仏壇市
ご予約会

想いを込めて、貴人と「意志入れ」。

地震対策も安心。
低付先頭ゲル
安震はかもり

「大島石」
大島石の墓石とは?
大島石は、愛媛県松山市大島町に産出する、硬く、滑らかな石で、古くから墓石として利用されています。

会場 株式会社 イフイ 松山市石手3丁目6-34 (石手寺前)
TEL.089-977-8000

JA/JA全農 協賛/JA全農えひめ販売店 株式会社 イフイ

数量限定 お急ぎください! 現品 特別大奉仕!

同時開催
お仏壇市

期間中は、JA組合員様には仏壇も
特別価格でご提供いたします。
この機会にぜひ、ご覧ください!!

大島石
コーナー
愛媛の銘石、大島石を
多数ご用意!

セット墓
コーナー
思い通りのお墓なら
おまかせ!

外国産材 & 国産材
見比べてみませんか?

年間2,000基の墓石建立実績
墓石・霊園のご紹介

年間2,000基の建立実績だから、安心できるトータルシステム。 採石・加工・販売までトータルにお届けいたします

採石 (青 島) 採石 (大 島) 採石 (コ ン) 採石 (コ ン) 採石 (コ ン) 採石 (コ ン) 採石 (コ ン) 採石 (コ ン) 採石 (コ ン) 採石 (コ ン)

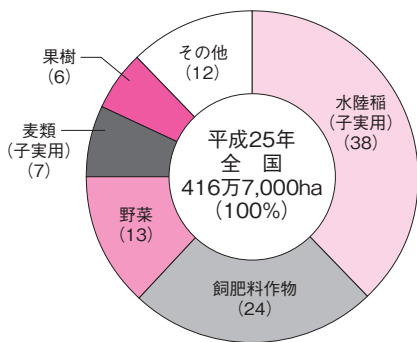
の現品特別大奉仕品もご用意してい
ます。また、新作お仏壇市ご予約会
も同時開催するほか、専門スタッ
フがお墓や仏壇・仏具に関するいろ
ろな質問・相談も受け付けます。毎
年ご来場の皆様からは、「いろいろ
見比べて納得して選ぶことができ
る」と好評を得ています。

ルをプレゼント。さらに100万円
以上ご成約の方にはシャープ「お茶
プレス」や可愛い「石の置物」が
当たるプレゼント抽選会を用意し、
多数のご来場をお待ちしています。
チラシ配布及びテレビCM等を通
じてご来場を呼び掛けています。展
示会に関するお問い合わせ・来場申
込みは、最寄りのJAにご連絡をお
願ひします。

統計BOX

耕地を有効利用し、美しく活力ある農業・農村に — 平成25年農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率調査結果から —

図1 平成25年農作物作付(栽培)延べ面積の作物別割合(全国)



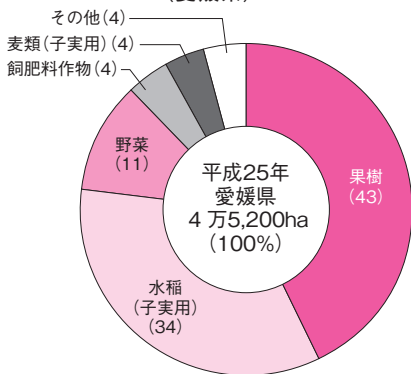
平成25年の全国の農作物作付(栽培)延べ面積(田畑計)は416万7,000haで前年並みとなりました。作物別の割合をみると、水陸稲(子実用)が159万9,000ha(38%)

全国の耕地利用率は91・8%で、前年並み

一方、耕地面積は、工場用地や道路、宅地等への転用及び耕作放棄地の拡大等により減少傾向にあります。そこで今回は、農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率についてみていきます。

農業・農村は、食料の生産だけでなく、国土・自然環境の保全などの多面的機能を発揮しており、農村で農業が継続して行われることにより、都市住民を含む様々な人々に多様な恩恵をもたらしています。

図2 平成25年農作物作付(栽培)延べ面積の作物別割合(愛媛県)

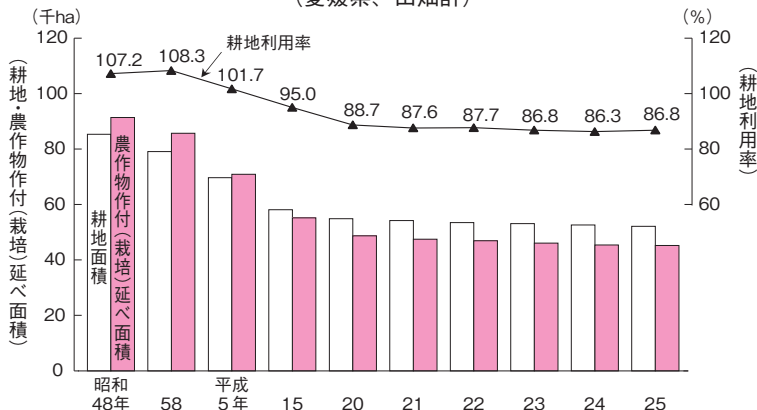


愛媛県の農作物作付(栽培)延べ面積(田畑計)は4万5,200haで、前年並みとなりました。作物別の割合をみると、果樹が1万9,500ha(43%)で最も多く、次いで水稲(子実用)1万5,300ha(34%)、野菜5,140ha(11%)の順となっています(図2)。この結果、平成25年の愛媛県の耕地利用率は、86・8%(田が92・4%、畑が82・4%)となり、前年に比べて0・5ポイント上昇しましたが、長

愛媛県は果樹と水稲(子実用)で約8割を占める

で最も多く、次いで飼肥料作物101万2,000ha(24%)、野菜53万3,100ha(13%)の順となっています(図1)。この結果、全国の耕地利用率は、前年並みの91・8%(田が92・5%、畑が91・1%)となりました。

図3 農作物作付(栽培)延べ面積と耕地利用率の推移(愛媛県、田畑計)



中国四国農政局
松山地域センター農政推進グループ

※耕地利用率とは、耕地面積に対する作付(栽培)延べ面積の割合のことをいいます。
食料自給率の向上を図り農業・農村の多面的機能を維持・発揮するためには、麦、大豆、飼料用米などの生産拡大を進めるとともに、耕地の有効利用や担い手への農地利用の集積・集約化を進めることが重要です。



世の中、まんざら 捨てたもんじゃない 2

陽気な性格で、なぜか根拠のない自信にあふれている私です。でもさすがに設立からずっと年度末決算で赤字が続くと、笑っていられなくなりました。

経営者Aさんからは「もう、社会貢献はやめなさい。無料相談を有料相談にするべきだ」と言われました。確かに何の収益も生まない無料相談のための人件費はとても高いです。でも、必要な人に必要な支援を提供するという思いでこの塾を立ち上げた私にとって、利用料という壁を作ることとはとても辛いことなのです。

うつ病で休職が長引くと無収入になります。生命保険金で子どもの学費を賄おうと考えるくらいに心の病とお金の問題は、密接で深刻です。ましてや失業中の人や母子家庭の人にとってはどうなんだろうかと。有料化は私にとって、一番寄り添いたい人に自ら壁を作ることのように思え、無料相談であることにこだわり続けました。

それほどに苦しい運営でも「このころの健康 気軽な街角相談」を継続していたのは、いざ行政と協働してこの問題に取り組む日が来るという思いが

あったからでした。毎日かかってくる相談電話は設立3年目には年間約800件にも及びました。こんなにくさんの人が誰かに力になってほしいと思っている。この数の多さを、行政がほっておけるはずがないと考えていたからです。

しかし、その思いは根底から覆り、私は膝から崩れ落ちて二度と立ち上がれないと思うほどのダメージを受ける経験をします。

時は平成22年、年越し派遣村や若者の貧困が話題になった数年後のことでした。こころも体も疲れきっている人には、自力で相談窓口をまわり解決の糸口を見つける力は残っていない、ということ、住まいやお金、仕事等の色々な問題を抱えている人がワンストップサービスを受けられる社会的包摂サポート事業が厚労省から提案されました。そして県単位でモデル事業が実施されることになったのです。私は愛媛県も手を挙げ、相談体制の充実を図ってほしいと願いました。これによりいくつもの問題でがんじがらめになっている人がたくさん救われるで

村松 つね

TUNE MURAMATU

特定非営利活動（NPO）法人こころ塾 代表理事。1955年4月生まれ。静岡県出身。東京学芸大学卒業後、横浜市立豊学校・養護学校教諭を務め、夫の実家・松山市へ。1995～2005年、財骨髄移植推進財団（骨髄バンク）コーディネーター。1996年から11年間、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 愛媛障害者職業センターにて、就職支援を担当。うつ病休職者の支援では、支援の有無が家族の崩壊や命に関わると、2008年5月NPO法人こころ塾を設立。独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構のリワークプログラムを、より実践的な週5日間模擬会社として提供。うつ病当事者会・家族会を開催し、課題支援に取り組む。国の緊急自殺対策による多くの市町の事業に積極的に関わり、愛媛県の委託事業では5年連続ラジオ特別番組を放送。2013年度の講演140回以上、受講者は約8,000人。2014年度は厚生労働省及び県委託の自殺防止対策事業を実施。2013年度 東温市精神保健福祉協議会委員。2014年度 松山市自殺対策推進委員会委員。認知療法学会会員。集団認知行動療法研究会会員。



◀こころ塾村松つね「こころの健康づくり」の話を聞かれた80歳女性からの毛筆の礼状。県民のためのNPOです。ご依頼があれば県内どこへでも伺います

しょう。そんな気持ちでした。でも県担当者の考えは「愛媛県にはニーズがないので、モデル事業には手をあげない」というものでした。こころ塾が身を削って実施している800件の相談は「（行政への）相談ニーズはない」という言葉に形を変えていました。こころ塾の良かれと思つての取り組みは、行政の実態把握の目をくもらせ、やらなくてもいいというお墨付きを与えるものだったのか。この出来事は、

こころ塾の存在そのものが揺らぐ事態でした。いきなり足を払われ地に倒れ込んでうつろになつていくような私に、ある製紙会社の社長さんはこんな話をしてくれました。「跡取りとして帰省したふるさとでは、子供のころ泳いでいた川を自分の会社が汚していたんですよ。そのことがとても悲しくて、何とかこの川をきれいな川に戻したいと思いました。そ



▲疲れている時、しんどい時ほどひょうきんになってスタッフを笑顔に

れから古紙のリサイクル方法や機械の開発に夢中で取り組んだ結果、うちの会社はたくさんの特許を取ったんです。でも特許は全部フリーにしました。だってただで使えるようにすれば世界中の企業が使うでしょう。そうすれば世界中の環境が良くなるでしょ。何のために働くのだろうと思う時、自分たちは10年後の社会を作っているのだと思ふんですよ」。

私が10年後の社会を作っているのです。こころ塾が10年後の社会を作っているのです。そう思うと行政への期待や失望はみごとに消え、「こころ塾はドンドン前に進めばいいのではないか！ 行政は後からきつとついてくる」と思えるようになりました。

『心の健康づくりを通して誰もが笑顔で暮らせる街づくり』というこころ塾の理念は明確です。でもその思いも「継続してこそ社会貢献」そして「実現できなければただの戯言」です。阪神淡路大震災後たくさんできたNPOが、今たくさん姿を消してしまっています。赤字が続けば潰れてしまいます。経営的にも事業体として成立し、継続できるNPOを作ることには本当に難しいことです。

でもきつと大丈夫！ こころ塾は、社会貢献と事業を両立した素敵な先輩達の背中を追えばいいのです。

一皮むけたおばさんは、またまた高笑い。「よっしゃー 任せとけ！」と腕まくりです。この根拠のない自信。見上げたもんじゃありませんか。

●夏休み親子で学ぼう地産地消体験ツアー

親子で収穫などの体験を通じて、愛媛農産物の魅力を実感！

えひめ愛フード推進機構とＪＡ全農えひめ、ＪＡ愛媛野菜生産者組織協議会は、８月２７日、「夏休み親子で学ぼう！ 地産地消体験ツアー」第５弾～野菜と菌床しいたけ内子コースを実施しました。

地産地消体験ツアーは、愛媛産農産物を親子で見て、触れて、食べる体験を通して、地産地消の意義を学んでもらおうと実施したもので、当日は松山市近郊の小学生親子７組２０人が参加しました。

ＪＡえひめ中央の小田地区を訪ねた一行は、ＪＡえひめ中央小田ピーマン部会の泉田孝行部会長から収穫の仕方、ピーマン栽培の状況や管理方法を学び、袋いっぱいピーマンを収穫。採れたてのピーマンにかぶりついたちびっ子は、「美味しい」「苦い」と言いながら笑顔を見せていました。

また、ＪＡえひめ中央小田支部しいたけ部会の和田清光部会長の案内で菌床椎茸を収穫したほか、収穫したばかりの椎茸を機械でパック詰めする作業も体験し、嬉しそうに持ち帰っていました。

小田自治センターでは、とったばかりのピーマン・椎茸やえひめ野菜を使って昼食づくりに挑戦。悪戦苦闘しながらも、楽しそうに野菜を

調理していました。昼食後には食育講座も行われ、親子で地元の食・農とのふれあいを楽しんでいました。

８月２４日のツアー第４弾「野菜たっぷり西条コース」では、親子２０人がＪＡ周桑管内で特産のアスパラガスの収穫とオムライスやサラダなどの調理と昼食を楽しみました。

８月８日には、ツアー第３弾「久万高原夏野菜コース」が開かれ、７家族１８人が参加し、ＪＡ松山市久万高原支所管内で特産のトマト収穫と昼食づくりに挑戦しました。当日は、食育講座のほか、トマトの選果場見学、早朝に行った松山市中央卸売市場でのセリ等の見学などを通じて、青果物が農家で生産・収穫されてからＪＡを通じて出荷され、市場からお店に届くまでの流れを学びました。

７月２９日の西予市野村町コース（ＪＡひがしうわのキュウリ収穫や選果場見学・料理づくり・食育講座等）を皮切りに、夏休みの地産地消体験ツアーでは、ＪＡ・生産者の協力を得て、収穫や見学、作る・食べる・聞く体験を通じて、参加した地元の消費者親子に愛媛の農産物や農業の魅力を実感してもらうことができました。



●JA愛媛米麦生産者組織協議会第15回総会

需要に応じた生産と品質・収量の向上に取り組む！

JA愛媛米麦生産者組織協議会は、8月11日、JA愛媛で第15回通常総会を開き、26年度事業計画を決めるとともに、高橋征三会長（再任・新居浜市）ほか全役員の留任を決めました。

26年度計画では、「えひめ米」の需要に応じた生産と品質向上対策に取り組むこととし、需要の安定した「コシヒカリ」「あきたこまち」「ヒノヒカリ」を中心とした作付誘導、「愛の夢」「松山三井」「しずく媛」は用途別需要に応じて生産誘導を進めます。また、「にこまる」は県内の平坦地域を中心に計画的な導入を進め、安定した収量・品質を確保するための生産技術実証に取り組めます。また、前年より削減となる生産数量目標相当の水田は、主食以外の水田活用米穀（備蓄米・飼料用米等）の作付を推進し、現行の耕作面積のフル活用を進めます。1等比率70%以上を目標に、「土づくり」など高温対策・品質改善対策の徹底を図ります。

生産量日本一のはだか麦は、1,700ha、小麦



200haを目標に、関係機関が連携し担い手を中心に品質向上や確実な生産数量の確保と安定供給体制の確立に取り組めます。

品質・収量の向上に向けて、「トータルアグリリード事業」に参画し、適地適作や異常気象に対応した優良品種への転換、土壌診断に基づく土壌改良や適正施肥に取り組むことなどを確認しました。

●平成26年度畜産振興連絡協議会総会

畜種の枠を超え希望の持てる畜産業をめざす！

愛媛県畜産振興連絡協議会は、8月25日、松山市のJA愛媛で平成26年度総会を開き、26年度事業計画を決めるとともに、TPPに関する国会決議の実現を求める特別決議を採択しました。

同協議会は、肉牛・酪農・養豚・採卵養鶏の生産者団体が、畜種の枠を超えて畜産の振興に必要な調査や関係機関等との連絡・協議、陳情・要請活動などを行っています。

26年度事業方針では、将来の畜産業に希望が持てる体制の構築、防疫・衛生管理の徹底による安全・安心な畜産物の安定供給、地域社会と調和のとれた畜産経営に取り組めます。また、所得経営安定対策への参加促進、TPPに関する



国会決議の実現に向けて関係団体と連携し積極的に取り組むことを確認しました。事業計画では、「愛媛県畜産振興議員連盟」との意見交換会を開催する予定です。

●第39回愛媛県JA-SSドライブウェイサービスコンテスト 最優秀賞に井上寛規さん・小玉泰之さん



▲フルSSの部入賞者（左から）谷本さん、井上さん、竹内さん



▲セルフの部最優秀賞の小玉さん

「第39回愛媛県JA-SSドライブウェイサービスコンテスト」が、9月14日、JAえひめ中央小田SSで開かれ、最優秀賞はフルSSの部で井上寛規さん（JA愛媛たいきサンライズ56SS）、セルフSSの部で小玉泰之さん（株JA東宇和サービスJASS-PORT宇和）が選ばれました。

コンテストは、愛媛県JA-SSチェーン本部が、JA-SSのCS（顧客満足）の追求とブランド化に向け、接客・点検技術の向上によるSS店舗の活性化をめざし毎年開いています。

今回は、5JAからフルSSの部に12人、セルフSSの部に3人が出場。模擬客を相手に、

設定された課題対応、接客サービス内容、ユーザー印象度の総合得点で順位が決まりました。

最優秀賞の2人は、「経験を生かし、今まで以上にお客様に満足して頂けるよう、日々の接客業務に取り組みたい」などと今後の意気込みを話していました。

事務局の全農四国石油事業所は、「出場者の差はわずかでレベルは年々向上している。お客様から満点をもらえるよう、日々技能向上に取り組んでほしい」と呼びかけました。

なお、フルSSの部優秀賞は、谷本和正さん（JA愛媛たいき川下SS）、竹内圭吾さん（JA愛媛たいき長浜セルフSS）が受賞しました。

●「いよっこら」親子農業体験ツアー

子どもたちが大根と梨の収穫を満喫！

JAえひめアイパックス(株)ファーマーズマーケット「いよっこら」運営協力会は、食農教育活動の一環として、8月25日、西予市野村町大野ヶ原と伊予市中山町を回る「親子農業体験ツアー」を実施しました。

このツアーは、収穫体験等を通じて農業や食の大切さ、地元農産物の美味しさや魅力を伝えようと毎年開催しており、今年で6年目。

今回のツアーには、伊予市近郊の親子13組・36人が参加。標高1,000mを超える四国カルスト・西予市野村町大野ヶ原の黒河高茂さんの畑で、特産の「大野ヶ原大根」を収穫しました。黒河さんから「大根が折れないようにまっすぐ上の方へ抜いて」というアドバイスを受け、子どもたちは一斉に畑に入り、苦戦しながらも力を込めて大根を引き抜き、「大きいのがとれた」



と歓声を上げていました。

一行は、放牧されている牛にえさをやるなど高原の涼しい風を受けながら大野ヶ原の自然を満喫したほか、伊予市中山町でも梨狩りを楽しみました。

なんでもBOX

●平成26年産里芋・山の芋出荷協議会&リジェール松山屋上ビアガーデン「伊予美人」PRイベント 26年産里芋は2,361 tの出荷を見込む

J A愛媛野菜生産者組織協議会とJ A全農えひめ青果販売課は、9月3日、J Aうま総合経済センターで、平成26年産里芋・山の芋出荷協議会を開きました。

里芋は、愛媛ブランドの「伊予美人」としての出荷が今年で9年目を迎え、ブランドイメージも徐々に定着しています。J Aうまを中心に、J A周桑・J A西条・J Aおちいまばり・J A新居浜市で「伊予美人」を栽培。東予地区で新規作付け等面積拡大に力を入れてきたことから、栽培面積は102.3ha（前年比101%）、出荷量は2,361 t（前年比134%）を見込んでいます。

販売基本方針では、生産出荷計画に基づく安定供給、企画販売の取り組みの拡充、「伊予美人」ブランドの消費宣伝活動等によるPRや消費提案などに取り組むことを確認しました。

J A愛媛野菜生産者協議会とJ Aうまは、特産の里芋「伊予美人」の美味しさのPRと認知度向上を図ろうと、試食宣伝等各種PR活動に

取り組んでいます。

9月5日には、リジェール松山・屋上ビアガーデンに、出荷シーズンを前に収穫した「伊予美人」を持ち込んで、J A職員らが来場者に「いも炊き」を振る舞い、秋の味覚「伊予美人」のシーズン到来と柔らかくねっとりとした食感や濃厚な甘みなどを消費者にアピールしました。

試食した方は、「軟らかく粘りがあり美味しい」と好評でした。



▲リジェール松山屋上ビアガーデンの伊予美人「芋炊き」PRイベントは今年も大好評！

●(株)えひめ飲料が松山東交通安全協会にジュース贈呈 ポンジュースを交通安全運動に役立てて！

(株)えひめ飲料は、秋の全国交通安全運動（9月21日から9月30日まで）の啓発活動に役立ててもらおうと、9月12日、「ポンジュース」200ml紙パック）1,000パックを松山東交通安全協会に贈りました。

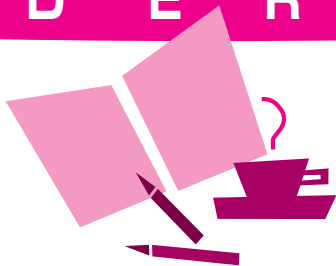
贈呈したジュースは、交通安全運動期間中に、松山東警察署管内で実施される「交通茶屋」や「高齢者教室」などの各種イベントで、交通事故防止のチラシや反射板とともに配布・活用されました。

贈呈式は、松山東警察署で同協会主催の「秋の全国交通安全運動推進会議」に先立ち行われ、交通安全協会と松山東警察署の関係者が見守る中、(株)えひめ飲料の川田永治常務が同協会の白石恒二会長に商品を手渡しました。

(株)えひめ飲料によるジュース贈呈は、社会貢献活動の一環として平成22年から毎年実施し、配布した皆さんから喜ばれています。



▲白石会長（右）に商品を贈呈する川田常務



●特集・ボンジュース発売45周年を読んで。私がみかん作りの現役（昭和40年〜60年）の頃は、温州ミカンが300万トン〜250万トンと生産過剰で大暴落もたびたびでした。値段を安定させるため、加工に取っていただき（kg30円位）大変助かったことを思い出します。これからも価格安定のためにもぜひ加工事業を充実して頑張ってください。

（西予市・井上 カエ子さん）

●私たちも結婚と同時にみかん作りを始めました。健康でしたので、私は軽トラックを運転し、50キヤリーほどの加工品を運んだものです。特集の（株）えひめ飲料の記事を読んで懐かしく当時に思い出しました。ボンジュースも出荷量により割り当てがあったと思います。今はせとが、たまみを頑張って作っています。

（今治市・奥河 敏江さん）

●ボンジュースが久松知事さんの名付け親で早や45周年、懐かしいですね。愛媛のまじめなジュースとして、空港に行けば蛇口から出るボンジュースと皆さんに喜ばれて有名ですね。私も子ども、孫、曾孫と愛飲しております。50年、100年と続くよう応援しております。

（松山市・武智 セツ子さん）

●ボンジュース発売45周年！私が愛媛県の東京事務所勤務していたころ、よく愛媛県青果連の方々が上京されたことを思い出します。発売45周年なんですね。「まじめな農家の作った！」というコマーシャルが良かったです！

（神戸市・久保 頼美さん）

●（株）えひめ飲料の取り組みを読んで、母72歳とボンジュースの昔のボトルの形などの話を懐しく話しました。

（京都市・中村 真里さん）

●県外（特に四国以外）の方に蛇口をひねるとボンジュースが出てくると本当に信じている人がいるくらい、愛媛といえはボンジュースですね。子どもたちも大好きなボンジュース。これからも安全・安心なジュースをよろしく願います。

（今治市・藤田 亜紀子さん）

●ボンジュースが発売45周年とか。私も愛飲しています。つぶつぶ、甘夏が大好きです。子どものころは我が家で瓶詰めして作っていました。そのころから甘夏は大好きでした。「南極でもボンジュース」何かでみたことがあります。今後、嗜好の変化とかで少しずつ変わっていくと思いますが、私の老後もボンジュースです。統計BOXを読んで。お花をしているため、市場へ毎週行きます。もう30年以上になります。あのころから「花き」の種類・量は大きく違ってきました。カサプランカが珍しかった頃もありましたが、今はポピュラーです。玄関には必ず生けてあった花は今ほとんどなくなりました。「花育」を進めてもらいたいですね。

（今治市・乾 律子さん）

●統計BOXを読んで初めて知りました。愛媛は柑橘の県とばかりに思っていました。が、ばらの出荷量が全国第5位だとは。花屋さんで、「これは愛媛産ですか？」と聞いてみたい。今年も熱中症防止に、本誌の広告欄にあった「塩と夏みかん」を毎日もらって摘果作業に励みました。美味しいので休憩時間が楽しかったです。

（八幡浜市・井上 喜美さん）

●「絹かわなす」を食べた方がとても美味しいと絶賛していたのでぜひ一度食べてみたい。皮も柔らかく、本当に美味しそうです。昔からおなじみの「えひめのまじめなジュースです」というテレビCMをもう一度見たくなりました。昔見た、あの当時のままのCMを復活させてみてほしいです。

（西条市・本宮 秀美さん）

●西条の「絹かわなす」は、本当に絹のようにピカピカ光って、ナスのキュッキュとあたたかな音がどんなお料理にしても食べようかと思いがめぐりますが、これまた生で丸かじりすると茄子の甘さにビックリします。でもお気を付けあれ、なすの上の方には鋭いトゲがついています。美味しいものにはトゲがある？農の風景で取り上げた食材を紹介する時に、美味しいお料理レシピも同時に載せてほしいです。

（西条市・竹田 久美子さん）

今月のクイズ

J A全農えひめとJ A愛媛野菜生産者組織協議会は、今年も8月31日の「野菜の日」にあわせ、消費拡大に向けて様々な食べ方提案を行っています。今年はトマトとキュウリをどんな食べ方（飲み方）で提案したでしょうか？

「野菜○○○ジー」

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。

応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。



締切り

平成26年11月20日（当日消印有効）

発表

「あぐり〜ど」12月号で発表します。

当選者発表

8月号の答えは「昭和44年」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10の方に図書カード1,000円分をお送りします。

河原富貴子さん（松山市）	上田トクミさん（八幡浜市）
福本 亜紀さん（松山市）	村上 睦さん（今治市）
平家カツミさん（八幡浜市）	武田 光政さん（伊予市）
柳原 素子さん（今治市）	松本 正さん（西予市）
越智 良和さん（西条市）	高山 亜希さん（今治市）

編集後記

★県内の方から、45周年記念の「えひめ」を売ったという話を聞きました。45年という長い歴史の中で、愛媛の野菜の魅力を伝えるために、様々な取り組みを行っています。今回の「えひめ」は、愛媛の野菜の魅力を伝えるために、様々な取り組みを行っています。今回の「えひめ」は、愛媛の野菜の魅力を伝えるために、様々な取り組みを行っています。

NOW NOW

COOKING

今月の素材

豚肉(ふれ愛・媛ポーク)



愛媛産の飼料をふんだんに
満足度の高いおいしさです

▶(左)豚肉ソテー和風きのこクリームソース、(前)ころころ
豚シューマイ、(右)沢煮椀



指導/学校法人愛媛学園 (愛媛調理製菓専門学校) 大佐古正子先生

豚肉ソテー 和風きのこクリームソース

材料・4人分	※1人あたり約281kcal
豚肩ロース肉 (トンカツ用)	4枚
塩・コショウ	少々
小麦粉	大さじ4
オリーブ油 (2回分)	大さじ1
ニンニク (みじん切り)	1かけ
シメジ	1/2パック
マイタケ	1/2パック
タマネギ	1/2玉
人参	中1/4本
豆乳	200cc
ダン	200cc
白味噌	大さじ1
醤油	少々
バター	10g
ハウレンソウ	1束

〈作り方〉

- ① 豚肉は塩・コショウをして、小麦粉をまぶし、フライパンに油を熱し、両面焼く。
- ② シメジとマイタケはほぐして、タマネギは薄切り、人参は千切りにする。
- ③ 豚肉を取り出したフライパンに油を熱し、ニンニクを炒め、香りが出れば②を炒める。
- ④ 豆乳とダシを加えて、トロミがつくまで煮込む。
- ⑤ 白味噌と醤油で味を調え、バターを加えコクを出す。
- ⑥ 器に、茹でたハウレンソウ、食べやすく切った豚肉、⑤のソースを盛りつける。

ころころ豚シューマイ

材料・4人分	※1人あたり約377kcal
豚モモ肉 (スライス)	350g
白ネギ	1/2本
レンコン	50g
椎茸	4枚
ギンナン	20粒
片栗粉	大さじ1
① ショウガ汁	大さじ1
② 塩・コショウ	少々
③ 酒	大さじ1
④ 濃口醤油	大さじ1
⑤ 砂糖	大さじ1
⑥ 片栗粉	大さじ1
⑦ ゴマ油	大さじ1
⑧ シューマイの皮	40枚
⑨ 白菜	2枚
⑩ 辛子醤油	適量

〈作り方〉

- ① 豚肉は細かく刻む。
- ② 白ネギはみじん切りにする。
- ③ レンコン、椎茸、ギンナンは小さめの角切りにし、片栗粉をまぶす。
- ④ ボウルに①を入れてよく混ぜ、②を加えてさらに混ぜる。
- ⑤ ④に③を混ぜ、⑥と片栗粉、ゴマ油を入れてよく混ぜて種を作り、20個に丸める。
- ⑥ シューマイの皮を5mm幅に切り、ほぐして、⑤の周囲につける。
- ⑦ 白菜の上に⑥のシューマイを並べ、蒸し器で10分程蒸す。
- ⑧ 辛子醤油をつけて食べる。

沢煮椀

材料・4人分	※1人あたり約129kcal
豚バラ肉 (スライス)	100g
塩	小さじ1
エリンギ	1/2パック
マイタケ	1/2パック
人参	1/5本
里芋	2個
白ネギ	1/2本
青ネギ	2本
ダシ	1,200cc
① 塩	小さじ1
② 薄口醤油	数滴
③ ミリン	少々
④ コショウ (好みで)	適量

〈作り方〉

- ① 豚肉は5mm幅に切り、塩をまぶして15分程置く。
- ② 沸いた湯の中に①をさっと入れ、冷水にとる。
- ③ エリンギは3cmの長さに薄切り、マイタケはほぐし、人参は千切り、里芋は半分にして薄切り、白ネギは斜めに切る。
- ④ 鍋に水気を切った②を炒め、ダシを加え、人参と里芋を入れ、柔らかくなるまで弱火で煮る。
- ⑤ ④にエリンギ、マイタケ、白ネギを加えて火を通し、①で味を調える。
- ⑥ 器に盛り、小口切りの青ネギを中央にのせる。

ポンジュース 45th

のんで! あつめて!

ポンジュース生誕45周年

ごだわりギフトプレゼント

対象商品の
応募マーク 5枚1口で

1,000名様に当たる!!

45周年オリジナルクオカード & POM商品詰め合わせ

株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地
TEL: 089-923-1527 FAX: 089-924-0304

応募期間 2014 12/31 まで

買って!! 飲んで!! 集めて!!

キャンペーンの情報は
こちらから
http://www.ehime-inryo.co.jp

対象商品

- ポンジュース 1L ペットボトル
- ポンジュース 500ml ペットボトル
- アップルジュース 1L ペットボトル
- グレープジュース 1L ペットボトル
- フルーツミックスジュース 1L ペットボトル

応募マーク5枚1口で応募できます!

愛媛県産
こだわりの
大島石

石のふるさと大島から心を込めて産地直送。



こだわりの
墓石が大特価!!

JA組合員の皆さまへ

JA 石碑 大展示ご予約会

セール期間中、JA組合員様には特別価格でご提供します。ご来場の方には粗品プレゼント!!

3日間限りの特別ご招待会

11/ **21**金 **23**日

【10:00~17:00】

ご成約プレゼント

墓石・仏壇ご成約の方に
**電気ケトルを
プレゼント!!**



ご成約ダブルプレゼント

100万円以上ご成約の
お客様には空くじ無しの
プレゼント抽選会!!

- シャープ お茶プレス
- 石の置物




＼墓石・仏壇が同時に欲しいという方は!／



黒壇嗣長19号 (高171×幅57×奥62)

墓石+仏壇

セットでお得!!

価格は
当日発表

お仏具
付

＼同時開催!!／

新作

お仏壇市
ご予約会



心と心をつなぐ、JA 墓石建立「3つのこだわり」

その1 想いを込めて、職人と「意志入れ」。



ご先祖をまつ大切な墓石、その中でも「拝み部分」は施主様の想いが込められた大切な部分です。生産メーカーだからできる墓石の字形、ご要望の方は当社工場に「ご来場いただき貴家の家紋、字形、字彫りを体験、熟練された職人と一緒に「意志入れ」ができます。

その2 地震対策も安心。

震度7の倒壊試験で実証済

墓石免震ゲル
安震はかもり



イブイの施工は、安らかに眠るご先祖を想い、大切な墓石に穴開け等キズをつける工法ではなく墓石免震ゲルを採用しました。

その3 「大島石」

大島石の墓石とは？

細粒質で硬質、吸水性が低いことから耐久性に優れ、小間彫り石とも呼ばれる最高級の石材。大島石の墓石材としての品質の確かさは数百年以上の歴史と実績が証明しています。






市内電車
●道後温泉 石手寺
●子規記念博物館 至道後温泉
●石手寺前本社
●石手川
●石手寺のすぐ前です。
●お車でお越しの方には大型駐車場完備。

会場 **株式会社 イブイ**

松山市石手3丁目6-34
(石手寺前)
TEL.089-977-8000

JA/JA全農 協賛／JA全農えひめ指定店 **株式会社 イブイ**